



県事協だより

NO.66

2011年7月15日

発行：鹿児島県公立小中学校事務職員協議会

編集：県事協理事会

県事協発足10年に寄せて

県事協発足より早や10年経ちますが、その間多くの方々の真摯な努力によりこの組織が、鹿児島県小中学校全事務職員の情報の共有化や県費事務や福利厚生事務をはじめとする各種事務の平準化に向けて順調に伸展し、成果を上げてこられたことに新ためて敬意を表します。

当時この組織の発足に関わった者のひとりとして、このように発展させていただいたことに感謝しながら発足当時のことを振り返ってみたいと思います。

その当時回答されていた中教審答申には教師の事務負担軽減と称して事務の外部委託化、事務センター化や共同実施という文言が盛り込まれ、新たな合理化が始まるのではないかと不安がありました。また巷間では市町村合併が声高に叫ばれ始め、いよいよ市町村に対する合理化が現実味を帯びて来ていました。このような中であって私たち学校事務職員は県全体の組織を持たず、各地区ごとに独自に組織されているに過ぎませんでした。

新しい時代の変化に対応していくには全県下の事務職員が参加し、等しく公平に情報を共有できる全県的組織の必要性を求める声があちこちで聞かされるようになってきました。それは「今ある各地区協議会長に集まっていたら情報交換会を持つのがよいのではないか」ということになり当時各地区協議会の会長を務めていた方々で設立に向けて話し合いを重ね、設立準備委員会を組織することとなりました。

そこの話し合いで特に大切にしたいことは、すべての事務職員が等しく情報を共有出来ること、各地区研修会のレポートを交換し合い一人ひとりの資質の向上を図ること、そして何よりも大切なことは学校事務は学校そして児童生徒に基づくものであり、学校事務職員は学校に無くてはならない職種であることを一人ひとりの事務職員に周知し、もって広く社会に認められることを目指すことでした。

僅か8万円の予算で始まった県事協は設立総会と、第2回総会の旅費とレポート交換しか出来ないような細々としたものでしたがあれから10年、今日の充実ぶりや実行力は目を見張るものがあります。

今後とも県事協が鹿児島県の教育と子どもたちの未来に大きく寄与する組織としてさらに発展されますよう祈念して県事協発足10周年に寄せる言葉とします。

平成 23 年 3 月 31 日

薩摩川内市立東郷中学校 事務職員 高原 博文

活動経過及び予定



- ★ 3月9日(水) 第11回理事会、第4回評議員会、第4回常任委員会
- ★ 3月22日(月) 県事協だよりNO.65発行
- ★ 4月25日(月) 会計監査、第1回理事会、関係機関へのあいさつ回り
- ★ 5月13日(金) 第2回理事会、第1回評議員会
- ★ 5月25日(水) 第3回理事会、第1回常任委員会

例年になく日程調整が難航し、第1回理事会は月曜日に開催しました。通常月曜開催はありえないのですが、支援室との日程調整が大変なのです。特に会計監査のお二人には無理をしていただきました。2010年決算・監査報告、役員体制を柱に論議を重ねました。今年度は8月で10年目を迎えるということで第10回総代会の後、「学校事務の共同実施に関する現状報告会」(以下、現状報告会)を、夜は10周年記念事業(レセプション)を開催する予定です。おおまかな計画を立てました。午後は会場である互助組合を皮切りに、共助会、学校生協、公立学校共済組合、県教職員課(今回は給与係のみ)へあいさつ回りでした。

第2回理事会では現状報告会のタイムスケジュール、中身、レセプションへの招待者(過去の役員等)名簿などを検討しました。第1回評議員会ではまず、決算報告と予算案の提示をしました。毎年のことですが、総代会が8月にある関係で暫定予算を組み、承認いただきました。それから2011年度事業計画、中でも第六次県費事務改善検討委員会の中身の検討をしました。

第1回常任委員会ではまず県のシステム変更のため昨年度までであった旅行起点表作成委員会を休止しました。福利厚生様式の記入例作成委員・・・昨年同様、常任委員は1名。県小中学校事務の実務手引書作成委員は昨年まで給与振込編1名、給与電算編1名でしたが、まとめて1名。

第6次県費事務改善検討委員会は今年度8地区中4地区の方に常任委員となっただき、年間通じ

て作業に尽力いただくことになります。

★ 6月17日(金) 第4回理事会、県事協事業説明会

第6次県費事務改善検討委員会 総括:吉井、越智

作成担当部分	常任委員 (地区・名前)	委員 (地区・名前)	担当理事
実務手引書	鹿児島 小隈美香		越智
福利厚生記入例	始良伊佐 宮後公治		濱田
手当 A 班 (扶養・子ども・児童)	日置 今井浩貴 始良伊佐 住吉弘典	南薩 畠中真一 熊毛 田尻真哉	箱川 寄井田
手当 B 班 (住居・通勤・単身赴任)	鹿児島 貴島里志 大隅 安永尋智	北薩 東 哲史 大島 本田英子	吉井 松元

昨年度14名に対し、少なくなりましたが今年度は10名の精鋭の皆さんで事業を進めていただきます。今年度の特徴は実務手引書、福利厚生記入例のお二人が今回始めてなので、理事でケアすることと、手当に関しては今井さん、住吉さん、貴島さんの3人が前年度から引き続き常任委員をしていただけるので心強いということです。

もうすでに予定を組んでいますが、7月25日、8月3日、8月23日の3日間で集中的に作業をします。

6月9日付けで一度はお知らせしましたが、2010年度作成の県事協CD(データ版)の様式間違い等ありましたので、再度掲載しておきます。

整理番号	共済組合記入例	2010 県事協データ版の様式	対応策
	国民年金第3号被保険者住所変更届	様式間違い	厚生労働省HPで確認ください。
20	育児休業手当金請求書	旧様式(算出方法の計算式部分)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
54	個人口座申請書	旧様式(1給付金を受領する口座の様式部分)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
61	貸付借用証書(一般・特別・住宅・住宅災害・教育・災害・医療・結婚・葬祭)	旧様式(利率の変更)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
62	貸付借用書(介護構造部分に係る住宅・住宅災害・特例住宅災害)	旧様式(利率の変更)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
81	高額医療・出産貸付借用証書	旧様式(出産貸付の追加)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
82	出産貸付申込書	旧様式(貸付限度額欄の変更)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
90	貸付事業における個人情報に関する同意書(両面)	旧様式(様式変更)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。
91	借入状況等報告書	旧様式(様式変更)	共済組合関係通知文またはHPで確認ください。

実際はまだまだたくさんの不具合があるかと思いますが、気が付いたところは教えてください。

hashima-ih07@po12.synapse.ne.jp ← (連絡先) 羽島中学校 事務職員 松元裕之

8月5日は忙しくなりそうです。9:00 理事会 10:30 評議員会 13:00 総代会 14:00 学校事務の共同実施に関する現状報告会 しかも、当初予定していた県教職員互助組合会館がとれず、ほとんどなじみのない「鹿児島市福祉コミュニティセンター」というところになってしまいました。それでも100人以上の方の参加が予定されているということはそれだけ学校事務の共同実施・学校事務支援室への関心が高いということでしょう。私のいる、いちき串木野市も半年過ぎ、やがて10ヶ月になろうとしています。できるところから・・・とは言うものの試行錯誤を繰り返す状況には変わりないところです。